

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーやパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご一読ください。



ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。



様々なサステイナブルな旅
づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページをご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受領した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した額」と「追加代金として表示した額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

(1)パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

①運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)

②送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金

③宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋2名で宿泊した場合を基準にします。)

④食事の料金(機内食は除く。)及び税・サービス料金

⑤添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用

⑥観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等

⑦航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金

⑧団体行動時の必要な心配付け

⑨旅行日程中の海外の空港税、同窓行税、同空港利用料

⑩その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの

(2)前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくとも払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

(1)超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)

(2)個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

(3)渡航手続関係費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)

(4)お一人旅で使用される場合の「1室1名利用追加代金」

(5)日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税

(6)港湾利用料、政府関連諸税等

(7)燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

(1)部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスト付き客室をご用意するよう努めていますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

(2)可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めています。なお、これまで通りツアーアイテムやコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他の現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあります。また、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00 08:00 12:00 16:00 18:00 22:00

朝 午前 午後 夕刻 夜 深夜

●日程表中のマークについて

■観光について: ●=船上観光 ○=下車観光 □=ユネスコ世界遺産

■お食事: ■=朝食 ■=昼食 ■=夕食 ■=機内食 □=食事なし ■=軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)

■乗り物: ■=航空機 □=バス □=列車 □=自動車 □=船 □=ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけよう、ツアーアイテムに既存の写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただけたものであります。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款になります。ご旅行条件は、2025年2月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施

ワールド航空サービス

東京支店 TEL : 03-3501-4111

東京都代田区有楽町1-5-1 日比谷マリニビル 4階 TEL 100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

大阪支店 TEL : 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 TEL 530-0001 総合旅行業務取扱管理者 森山 貴宣

名古屋支店 TEL : 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICCO栄8階 TEL 460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

*総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁登録旅行業者201号

WEBもどうぞ ワールド航空 検索 <https://www.wastours.jp>

九 州 支 店 TEL : 092-473-0111
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多港ビル2階 TEL 812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 艾子

札 幌 支 店 TEL : 011-232-9111
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 TEL 060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

藤 沢 支 店 TEL : 0466-27-2111
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンバービル 3階 TEL 251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

営業時間／月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)
ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員



MISAWA
ミサワホーム フィンランド
ワールド航空サービス
共同企画

森と共に生きる国フィンランド
晩夏に輝く湖水地方を訪ねて



ヘルシンキでは名門「ホテル・カンプ」に連泊する
フィンランド湖水地方と
北欧デザインの旅 8日間

フィンランド湖水地方 サイマー湖の眺め(イメージ)

ヘルシンキでは名門「ホテル・カンプ」に連泊する フィンランド湖水地方と 北欧デザインの旅 8日間



オラヴィ城 石造りの中世の古城としては世界最北にあるといわれます

ここに注目。旅のポイント

サヴォンリンナに連泊し、

湖水地方の美しい自然をお楽しみください

フィンランド最大の湖、サイマー湖。そのほとりに開けたサヴォンリンナ連泊から旅は始まります。比較的大きな湖畔の街ですが、歩いて散策を楽しめるほどよいサイズです。ランドマークは、フィンランド三大古城の一つ、「オラヴィ城」。白樺に囲まれて湖上に浮かぶ姿は、大変絵になります。爽快なサイマー湖の遊覧クルーズも楽しめます。宿泊ホテルの目の前には蒸気船が並ぶ港があり、マーケット広場もあって、立地も抜群です。

フィンランド湾に浮かぶ世界遺産スオメンリンナ

かつて島と島をつなぐようにして建設されたロシアの要塞でしたが、フィンランド独立後、スオメンリンナ(フィンランドの城)と改名。現在では博物館やカフェ、ショップが並ぶ人気のスポットです。



ロシアの要塞が築かれたスオメンリンナ



ツアープランナーより

ヘルシンキは、2024年の最も持続可能な観光地に選出されました(※)。フィンランドが、SDGsに積極的に向き合ってきたことの証です。森と湖の国として知られている同国ですが、豊かな自然の中で育まれた哲学が、人々の根底に流れているのでしょう。そして、それが形となって現れたのが、デザインといえます。フィンランドの優れたデザインと自然には、深いつながりがあるはずです。このツアーでは、国民の心の故郷ともいえる湖水地方に連泊。神秘的な自然風景に包まれ、ひと味違うプログラムを通して、フィンランドの自然との共生の姿を読み解いていきます。またヘルシンキでは街を代表するホテルに宿泊し、食を通してその風土や伝統にもふれいただきます。

※4つのカテゴリーで70以上の指標を用いて、旅行先の持続可能性を測定している「グローバル・デステイニエーション・サステナビリティ指数」で2024年の1位に選出

北欧モダンデザインの父、アルトの自邸を訪問します

フィンランドを代表する建築家であり、デザイナーだったアルヴァ・アアルト。ヘルシンキでは、妻のアイノと子どもたちと一緒に過ごした彼の自邸にて案内します。戦前に完成した家ですが、氏の作品に通じるような居心地の良さを追求した内装、シンプル

ながらけつて古びることのないデザインの家具から、家族への愛と思いやが伝わってきます。アアルトが仕事に使った白い机、新婚旅行で買ったダイニングチェアなどが残されています。



アルトとアイノの亡き後に再婚したエリッサ Photo Alvar Aalto Foundation.



居心地の良さを追求したアルトの自邸 Photo Maija Holma, Alvar Aalto Foundation

森の中のアーティスト村 フィスカルス

製鉄業で一時代を築いたフィスカルスですが、時代の変化とともに廃村になりました。それを救ったのが、アーティストたち。現在では100人以上の芸術家やデザイナーが集うアーティスト村になりました。



人気のフィスカルス村にご案内します

MISAWA ミサワホームの工場を訪ね、 フィンランドの森林保全の取り組みを学びます

ハウスメーカーのミサワホームは、1994年、フィンランドの湖水地方に木材工場を建設し、木材を日本に送っています。持続可能な開発を掲げる同国では厳格な森林管理が行われ、伐採とともに苗木の植栽が義務付けられています。このため、森林減少を増加が上回り、同国の森林率は世界トップクラスを誇ります。ツアーでは同社の製材工場を特別に訪ね、フィンランドの森林保全の取り組みを学ぶ機会を設けました。



サイマー湖に面したミサワホームの木材工場。火力発電所に隣接し、おがくずなどが送られて発電のための燃料に使用されています(写真提供:ミサワホーム)



フィンランドの森林率は75パーセント近くあり、世界トップクラス ミサワホームが供給している木材がフィンランドの空港でも使われています

(写真提供:ミサワホーム)

利用予定航空会社: フィンエアー

ツアーコード: EN010T

集合・日数・出発日

旅行代金

【羽田空港集合・8日間】

エコノミークラス利用

8月17日(日)

ビジネスクラス利用

¥998,000

¥1,578,000

(お一人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)

ビジネスクラス利用区間: 日本発着の国際線区間にのみ適用

燃油サーチャージ別途目安: ¥58,000: 2月1日現在

地方発着追加代金 大阪・名古屋～東京 片道 ¥5,000 但し停車条件がございますので各支店へお問い合わせください

福岡・札幌～東京 片道 ¥10,000

各支店へお問い合わせください

訪問地 スケジュール 宿泊地・食事

1 羽田空港21:50発 → 夜、**フィンエアー直行便**にて、ヘルシンキへ。(機中泊) □□機

ヘルシンキ04:40着 ■■■ 著後、バスにて南カレリア地方の長閑な景観を楽しみながら、ラップペーンランタへ。

ラップペーンランタ ■■■ 著後、ロシアとスウェーデンの占領下にも置かれた複雑な歴史を持つ●ラップペーンランタ要塞、及び敷地内に残る、フィンランドで最も古い○正教会を訪ねます。

早めの昼食にはピーラッカ(カレリアパイ)をご用意しました。

その後、湖水地方でも屈指のリポート地、サヴォンリンナへ。

ホテル着後、早めにチェックイン。ご宿泊は旧市街に位置し、散策に便利な「オリジナル・ソコス・ホテル・セウラウオネ」をご用意しました。

[2連泊] (サヴォンリンナ泊) 機中泊

2 サヴォンリンナ 15:00着 午前、石造りの中世の古城としては世界最北と言われる●オラヴィ城へ。約530年前に建設されたフィンランドを代表する古城の一つへご案内します。

その後、サイマー湖への遊覧クルーズをお楽しみいただけます。美しい湖水地方を水上から満喫ください。

午後、様々なお店があるマーケットスクエアの散策、及びサイマー湖周辺のウォーキングをお楽しみいただけます。

(サヴォンリンナ泊) 朝昼夕

3 サヴォンリンナ 午前、ミッケリへ向かいます。ミッケリ到着後、ミサワホームフィンランド工場へ。

フィンランドの持続可能な森林から計画伐採された木材を調達するミサワホーム。木材の安定供給と地域社会への貢献、環境保全の取り組みは工場設立時より今も変わらず続けられ、持続可能な社会の実現に寄与しています。先端施設の整った●ミッケリ工場、○環境保全された森、など発電所環境先進国の循環型社会に触れてください。

見学後、ホテルチェックイン。ご希望の方は、ミサワホームフィンランド工場近くにオープンしたサウナ施設でのサウナ体験へご案内します。

(ミッケリ泊) 朝昼夕

4 サヴォンリンナ 08:00発 ■■■ ミッケリ09:30着 午前、ミッケリに向かいます。

ミッケリ到着後、ミサワホームフィンランド工場へ。

フィンランドの持続可能な森林から計画伐採された木材を調達するミサワホーム。木材の安定供給と地域社会への貢献、環境保全の取り組みは工場設立時より今も変わらず続けられ、持続可能な社会の実現に寄与しています。先端施設の整った●ミッケリ工場、○環境保全された森、など発電所環境先進国の循環型社会に触れてください。

見学後、ホテルチェックイン。ご希望の方は、ミサワホームフィンランド工場近くにオープンしたサウナ施設でのサウナ体験へご案内します。

(ミッケリ泊) 朝昼夕

5 ヘルシンキ15:30着 午前、運河沿いに並ぶ赤レンガや石畳の通りにパステルカラーのカラフルな街並みが印象的なボルヴォーへ。

ボルヴォー着後、レストランにて昼食。

その後「エコ・ヴィッキー」へ、サステナブルなエコ住宅の建築モデルケースになったヴィッキー地区を見学します。

その後、ヘルシンキへ。

ヘルシンキ到着後、フィンランドを代表するデザイナー、●アルヴァ・アアルトの自邸の見学。

その後、ホテルにチェックイン。ご宿泊は旧市街の中心に位置する、ヘルシンキを代表する高級ホテル「カンプ」です。

[2連泊] (ヘルシンキ泊) 朝昼夕

6 ヘルシンキ 午前、公共フェリーにて防護壁が張り巡らされた、スオメンリンナ島へ。着後、世界遺産に登録された島内の散策をお楽しみください。

その後、ヘルシンキに戻り、昼食。

ヘルシンキを代表する高級レストランの一つ、「サヴォイ」にてご用意しました。

午後、自由行動。ご希望の方は、ヘルシンキ大聖堂、ホテル前の大通りエスプラナーデの散策などにご案内します。

(ヘルシンキ泊) 朝昼夕

7 ヘルシンキ18:30発 → 午前、フィスカルスへ。着後、フィンランドのアーティスト村と呼ばれるフィスカルスの散策。昼食後、ヘルシンキ空港へ。

夕刻、**フィンエアー直行便**にて、帰国の途へ。

(機中泊) 朝昼機

8 羽田空港13:50着 午後、羽田空港に到着。着後、解散。

機□□

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:8名様 ■食事:朝食5回、昼食6回、夕食4回 ■添乗員:羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。■■パスポート必要残存有効期間:帰国時3ヶ月以上 ■■パスポート査証未使用欄:見開き2ページ以上必要

ヘルシンキ有数の高級レストラン「サヴォイ」での昼食

ヘルシンキを代表する北欧モダン料理店。旬の食材を生かしたコース料理を提供しています。伝統的な料理に現代のエッセンスを加えたお食事をお楽しみください。

インテリアにも北欧らしいデザイン美が感じられます(イメージ) ©Anton Sucksdorff

